

21世紀「京都大学化学連携研究教育拠点」

化学研究所・有機化学セミナー 報告書

集会名：Hendrik Zipse 教授講演会

場所：化学研究所 新4階（西）セミナー室

日程：平成17年9月16日（金）

主な参加者：Hendrik Zipse 教授、川端猛夫、北川敏一、椿一典

総参加者概数：40名

議論内容：演題“Catalysis in Acyl Transfer Reactions”

DMAP に代表されるアシル化触媒の活性と選択性発現に関して講演があった。本反応は（1）活性中間体の生成及び（2）活性中間体の基質との反応、の2段階反応である。それぞれの段階に及ぼす触媒構造の影響、アシル化剤（酸無水物）の影響を速度論と理論計算に基づいて説明があった。これらを元にさらに高活性、高選択的な触媒設計に向けての要因を議論した。議論は講演会終了後も含めて2時間に及んだ。

